

令和5年度 5回 藤沢市立秋葉台中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2024年 2月16日（金）10時～

場 所 秋葉台中学校 2階会議室

|      |   |
|------|---|
| 出席委員 | <p>若宮 隆志 （会長・遠藤市民センター長）<br/>                 千葉 雄一 （副会長・秋葉台中学校校長）<br/>                 宮澤 正美 （前学校評議員、御所見地区民生委員）<br/>                 内田 美帆 （前学校評議員、本校保護者）<br/>                 具島 弘人 （前学校評議員、六会地区民生委員）<br/>                 山本 久子 （前学校評議員）<br/>                 村瀬 道雄 （藤沢市スポーツ推進委員、体育館管理指導員）<br/>                 福田 まり （秋葉台中学校教頭）</p> <p style="text-align: right;">以上8名出席</p>   |
| 次第   | <p>1. 開会<br/>                 2. 議題 学校評価について<br/>                 3. その他<br/>                 4. 閉会</p>   |
| 協議内容 | <p>学校評価について&lt;結果と考察&gt;<br/>                 （教頭より）<br/>                 生徒結果<br/>                 保護者結果<br/>                 職員結果<br/>                 自由記述欄より</p> <p>ご協力いただいた学校評価から課題を沢山見いだせることがあって、それを今後<br/>                 に生かすことで学校評価をする意味があり、それを生かすことが一番重要ではな<br/>                 いか。先生方には生徒、保護者に集計に協力頂いてることなので、今後の指導に<br/>                 生かして行こうと話しました。</p> <p>◎スクリレについて<br/>                 ◎校納金の収納方法について<br/>                 ◎学校運営評議委員から</p> <p>委員：PTAについては、校長先生の言うように結果と望んでるがイコールでは<br/>                 ないなと思った。</p> <p>委員：コミスクの延長として秋葉台中学校の学習支援をしていきたい、と考えて<br/>                 いる。学校としては、学校の先生や部活の先生が、特定の人でも団体でも<br/>                 でもいいので、こういうことをやっている、生徒の後ろから後押しをし<br/>                 てください、と。地域としては公民館を使って学習室を定期的に開放して<br/>                 学習が出来る環境を作る。分からない、のつまずきがそこから先に進めな<br/>                 くなる一つのハードルだと思うので、分からないというところを学生に学<br/>                 習支援としてサポートしてもらいたいと考えていることを大学に話した。<br/>                 4月からは無理だが、5・6月から定期的に週1回公民館、試験前1週間</p> |

くらい秋中を解放して学習の場所を確保したい。教材は生徒たちで参考書やドリルなどを持ってきて分からないところを聞く、というのを来年度1年間通してやって行きたい

委員：来年度の公民館の事業で、子供の居場所作り、不登校の子たちにも地域で何か出来ないか、来年度探っていきたいと思っている不登校の子たちを学校に来させることがゴールではなく、家の外に出れることがゴールとしてやっている。出られないことが社会的問題。

この辺だと公民館の仕事や農作業の手伝いや公園の整備なので、令和7年は探っていきたい

委員：自分の子が中学生だった頃の方が学校に対して子供たちの不平不満より、保護者からも感謝が多かった気がする。先生たちに対してもこういう所で叱ってくれた、褒めてくれた、道筋を作ってくれた、と。今ももっと増えるといい。朝も民生委員が声をかける前に秋中生が挨拶してくれたりするのでほっとする

委員：PTAがなくなった、でも地域との活動が稀薄とか地域との交流をして欲しい、は矛盾しているのかなと思った。PTAは毎年毎年なる人がいないとか、現行の委員に負担がかかったりしていたので、誰かがなくすならなくす、で決断してくれて良かったのかな、と。

委員：アンケートの項目は、こういうこと聞きたいなど先生方の意見が出てから決めている？

教頭：経年変化を見るために、基本的に変えてないと聞いています。昨年度と比較して、というのも踏まえて同じ項目ではあるが、時代もあったりするので検討はしていかないといけないのかな、とは思う。

校長：今の1年生が学年上がるごとに、学校行くのが楽しいが増えれば、あ～やっぱり1年生の頃は慣れるのに大変だったからか、と分かることもある

委員：1年生は小学校から来て、勉強があってテストで順位つけられて、があって楽しくないのかなあとと思ってグラフを見ていました。また、先生への感謝は、過ぎた人達には分かるが、今の当事者である生徒や保護者は要求ばかりになってしまう、分かるのは難しいことなのかなあと思いました。

委員：同じような集計を企業でやると、先生が上司ならみんな否定的になってしまうが、これだけ肯定的があるのは先生方がいいこと。あとは校長先生が言うように地域との交流が少ないと言うが、多ければいいって事でもない。

校長：夏祭りは秋中生で溢れかえっている。

委員：ここ数年は小中レクリエーションも増えている。もう少し機会を増やしていけたらとは思う。

<その他>

●卒業証書授与式のお知らせ

<閉会の言葉>

会長：一小一中学区という特殊な地区でもあるので、小と中を連携した形で地域サポートを考えていけたら、来年度思っています。その中で色々と公民館側にはなりますが、中学生も小学生も一緒にいれるようなことを考えていけたら。コミスクの中で、学校の持つ課題を地域としてどう支えていくかを考えてきて、二年間ではなかなか答えは出なかったが、令和6年で事業化することが出来そうなので、これがコミスクでの成果かなと思ってい

|  |   |
|--|---|
|  | <p>る。色々なところで学校を地域で支えていきたいと大勢が言っている<br/>ので、現場サイドのところで色々な地域の人材発掘を進めていきたい。勉強<br/>させて頂き、こうやって集まったことが幸せでした。本当に二年間ありが<br/>とうございました。</p> |
|--|---|